

第5章 再編事業化にかかる検討

5-1. 再編後の維持管理費の見通し

前章で示した具志川校・浦添校の再編に伴う改修・再配置が完了した後の、年間あたりの維持管理費を概算的に算出する。

(1) 施設の維持管理費（年間あたり）

現在の具志川校・浦添校の光熱費・メンテナンス費をベースとして、現況と再編後の面積比によって、具志川校・浦添校それぞれの年間あたりの維持管理費を算出した。

具志川校の維持管理費（H33年想定） (千円)

項目	維持管理費
電気料金	8,569
水道料金	1,174
施設修繕費	3,860
訓練機器メンテ費	3,665
合計	17,268

浦添校の維持管理費（H33年想定） (千円)

項目	維持管理費
電気料金	8,237
水道料金	1,129
施設修繕費	3,710
訓練機器メンテ費	3,523
合計	16,599

5-2. 短期対応と長期対応の考え方

沖縄県立職業能力開発校の再編整備計画では、具志川校本館の建て替えおよびその他建物の補修による継続使用を短期対応に位置づけ、さらにその他建物の建て替えを長期対応に位置づける。

(1) 短期対応（劣化建物の補修）

ここでいう建物の補修費とは、科の再編の有無に関わらず、今後もしばらくの間、現在の建物を継続使用していくことを前提とし、建物の寿命を若干、延ばすための補修に掛かる費用として考えている（長期的には各建物の建て替えは必要である）。

今回の補修費は、現場にて建物劣化調査を実施しその結果を踏まえて、ひび割れ、鉄筋錆、コンクリート浮き、塗装・笠木等（撤去）、塗装補修、また補修工事に伴う直接仮設などの項目に基づいて概算的に算出した。

具志川校 補修費

	金額（千円）
自動車整備科実習場	3,714
電気システム科実習場	6,655
設備システム科実習棟	2,805
メディア・アート科実習棟	3,035
体育館	1,989
合計	18,198

浦添校 補修費

	金額（千円）
管理棟	33,011
自動車整備科実習棟	9,410
建設機械整備科実習棟	7,847
電気工事科実習場	12,651
板金溶接科実習場	7,203
体育館	11,075
合計	81,197

(2) 長期対応（計画策定の必要性）

現段階ですでに浦添校管理棟および具志川校・浦添校の各科訓練場に劣化等が見られることや、一般的な鉄筋コンクリート造建物の耐用年数などを勘案すると、いずれ各建物の建て替えが必要となってくるため、建物補修等の短期対応を図っていくと同時に、長期的な建て替え計画を策定することが望ましい。計画策定にあたっての主な配慮点を以下に示す。

- ・沖縄県立職業能力開発校の長期的な建て替えやそのための予算確保を計画的に進めるにあたり、沖縄県公共施設等総合管理計画（平成 28 年 3 月策定予定）の方向性を確認しながら行う必要がある。
- ・沖縄県立職業能力開発校のソフト・ハード計画を行うにあたり、バリアフリー化を図るほか、県内・県外の先進事例等において機能性・利便性の面で参考になる手法（例：ポリテクセンター沖縄では教室と訓練場を隣接させ利便性を高めているなど）の導入についても検討する。
- ・今後とも時代のニーズに合わせて科の新設・廃止、再編に伴う配置の変更・移転が生じる可能性もあることから、長期計画においては、教室・訓練場もそれに対応しやすい造り・配置であることが望ましい。なお、本業務における具志川校・浦添校へのヒアリングによって、教室・訓練場の面積を現況よりも広くしたいという意見が多数、挙がっていることも考慮することとする。

5-3. 事業全体のスケジュール

第3章で示した、科の再編フレームの検討（教室・訓練場・機材等の移動・各訓練科の移行スケジュールの検討）および施設整備にかかる検討（配置計画・事業費概算等）を踏まえ、事業全体のスケジュールを以下に示す。

（1）年度別の事業費配分（案）

県立職業能力開発校の再編に伴う主な事業費配分（案）を、以下に示す。具体的には、平成29年度に具志川校本館の仮設校舎の設置、平成30年度に具志川校本館の建て替え整備、平成31年度に具志川校その他建物の再編整備、平成32～33年度に浦添校の再編整備を検討している。

年度別事業費配分（案）

（金額：千円）

具志川職業能力開発校	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
新本館建設(食堂撤去含む)			1,535,600 22,894	新本館B案(新営、解体、改修を含む) 変電所更新		
自動車整備科				55,132 14,921	自動車整備科実習棟大 自動車整備科実習棟小	
建設機械整備科 → 自動車整備科				52,926		
電気システム科				40,241 6,038	電気システム科実習棟 模擬家屋整備	
設備システム科 → 電気システム科				28,946		
メディア・アート科						
情報システム科						
オフィスビジネス科(身障)						
ショップビジネス科						
総合実務科(知障) → 解体撤去				2,720	解体撤去	

浦添職業能力開発校	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
自動車整備科 → 建設機械整備科					146,824	
建設機械整備科 → 建設機械整備科・設備システム科					74,975	
設備システム科・板金溶接科 → 金属加工科						50,123
電気工事科 → 電気システム科						
エクステリア科						
OA事務科(身障)						
ビジネスマネジメント科 → 女子更衣室						6,597
具志川校B案、年度別の 概算整備費用(千円)→			1,558,494	200,923	221,799	56,720

備考

・現時点では、実習棟の改修期間は概算で6ヶ月とする。改修内容を精査した場合、数カ月の補正を必要とする可能性を残す。

上記は、科の再編に伴う改修関連の概算整備費用を示しており、本章5-2（1）短期対応で示した各建物の補修費は現段階でスケジュールが定まっていないため、含めていない。

(2) 年度別施設計画

再編に伴う年度別の詳細な施設計画を、以下に示す。

具志川職業能力開発校	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
新本館建設 【新本館教室】	基本設計 実施設計	(B案)仮設校舎	(B、C案 工期約12ヶ月)	→【新本館教室】		
自動車整備科 【既設実習棟】	→ 2年 1年	1年 → 2年	→ 2年 1年	1年 → 2年	2年 → 1年	1年 → 2年
建設機械整備科 【既設実習棟】	1年	廃止(浦添へ移行)		【実習棟】改修(約6ヶ月)	→【自動車整備科実習棟へ】	
電気システム科 【既設実習棟】	1年	1年	1年 → 2年 ⇒2年課程へ移行	2年 → 1年	1年 → 2年	2年 → 1年
設備システム科 【既設実習棟】	1年	1年	廃止(浦添へ移行)	【実習棟】改修(約6ヶ月)	→【電気システム科実習棟へ】	
メディア・アート科 【既設実習棟】	1年	1年	1年 → 2年 ⇒2年課程へ移行	2年 → 1年	1年 → 2年	2年 → 1年
情報システム科 【既設実習室】	1年	1年	1年 → 2年 ⇒2年課程へ移行	2年 → 1年	1年 → 2年	2年 → 1年
オフィスビジネス科(身障) 【既設実習室】	1年	1年	1年 (B案)仮設校舎(約1年)	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月
ショップビジネス科 【既設実習室】	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	廃止			
総合実務科(知障) 【既設実習棟】	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月 (B案)仮設校舎(約1年)	1年 【実習棟】撤去	1年	1年
						→【新本館実習室を利用】

浦添職業能力開発校	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
自動車整備科 【既設実習棟】	1年 → 2年	2年 → 1年	→ 2年	廃止(具志川へ)	【実習棟】改修(約6か月)	→【建設機械整備科実習棟へ】
建設機械整備科 【既設実習棟】	1年	短期課程へ 1年	1年	1年	1年	1年
設備システム科 【既設実習棟】	1年	1年	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月
板金溶接科 (金属加工科は半年の閉鎖期間が生じる) 【既設実習棟】	1年	1年	1年	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月
				金属加工科に改名	【実習棟】改修(約6か月)	→【金属加工科実習棟へ】
電気工事科 【既設実習棟】	1年	1年	1年	1年	1年	1年
				電気システム科に改名	【実習棟】改修(約2か月)	→【電気システム科実習棟へ】
エクステリア科 【既設実習棟】	1年	1年	1年	廃止		
OA事務科(身障) 【既設実習室】	1年	1年	オフィスビジネス科に改名、短期課程へ 6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月
ビジネスマネジメント科 【既設実習室】	6ヶ月+6ヶ月	6ヶ月+6ヶ月	廃止			
						→【オフィスビジネス科実習室へ】

(3) 科の移動の概略図

再編に伴う訓練科の移動とその年度について、概略的に示す。

※地区は現況



